

ひびく声



製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町）の新院長に同病院副院長だった前田征洋さん（56）が1日付で就任。「市民が安心して暮らせる街づくりに貢献したい」と話す。

専門は消化器内科。2年前、道内で初めて専用のカプセルを飲んで調べる「大腸カプセル内視鏡検査」を始め、今年2月にコンピュータ断層撮影装置（CT）を使う「大腸CT」を導入。カプセル

要望に沿う医療目指す

検査は放射線被曝ひばくがなく、CTは15分程度と短時間で済む。それぞれの利点を生かし「患者の多様な要望に沿った医療を目指す」と意気込む。

胆振管内で初めてとなる「ピロリ菌専門外来」や、がん対策センターの設立も積極的に進めた。「大都市と地方で、医療水準に大きな格差があつてはいけない」という信念からだ。院内で09年に始めた「市民公開がんセミナー」も参加者数が徐々に増えている。「高齢化は今後も進み、医療への関心がより高まる。市民の期待に応えられるよう、力を尽くしたい」。（半藤倫明）